

隔月連載

支える
育てる
高める

みんなの
文化会館

新しい文化会館の建設の進捗や開館に向けた取り組みを紹介します。



2月3日撮影

広報つるおか

平成29年3月号

【平成29年3月1日発行】

Vol.3 市民とつくる本緞帳

■問合せ／社会教育課芸術文化係 ☎57-2139

舞台と客席を仕切り、日常と非日常の境をつくる緞帳は、ホールの顔とも言われます。文化会館に設置する本緞帳の大きさは、縦9.5m・横20m。デザインは、世界的に活躍する画家・千住博氏の絵画『水神』に決められました。2015年にヴェネツィア・ビエンナーレで初公開された作品で、出羽三山の雪解け水など、月山の豊かな水資源を思い浮かべさせるデザインとなっています。勢い良く流れる滝のように、様々な芸術文化が絶え間なく創造されるよう期待を込めて採用しました。



『水神』(2015)



©村上義親

千住博氏

日本画家。東京都生まれ。1995年第46回ヴェネツィア・ビエンナーレにて名誉賞受賞。日本画・版画・壁画・デザインなどの絵画制作にとどまらず、文筆活動や教育にも携わる。

本緞帳制作は、プロポーザル方式で選定されたオリエンタルカーペット(株)が行います。染色や織りなどの制作の全行程を、社内の職人が一貫して行っている同社。細密な表現力が持ち味で、皇居や歌舞伎座などの絨毯、県内では遊学館や川西町フレンドリープラザなどの緞帳を手掛けています。

本緞帳の素材の一部に用いる絹は、庄内地域で生産される「鶴岡シルク」です。その中には「繭人」が携わった絹も含まれます。繭人とは、市民が蚕の飼育体験をする取り組みで、鶴岡シルクタウン・プロジェクトの一環で始まりました。緞帳制作にあたり39人と9団体が繭人の取り組みに参加。松岡(株)の製糸工場で、繭を絹糸へ加工する過程を見学・体験した繭人は「大切に育てた蚕が本緞帳の一



ふ化したばかりの蚕を受け取る繭人



絹糸を束にする「捻造」を体験する繭人部になると思うとうれしい」「完成が楽しみです」と話していました。

新たな顔となる本緞帳は、今秋にお披露目予定です。

編集・発行／鶴岡市総務部総務課

鶴岡市役所 本所	〒997-8601	山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071 tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp http://www.city.tsuruoka.lg.jp https://www.facebook.com/tsuruokacity
	(メールアドレス) (ホームページ) (フェイスブックページ) (窓口受付時間)	月曜～金曜日(祝日・年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分
藤島庁舎	〒999-7696	市内藤島字笹花25 ☎64-2111
羽黒庁舎	〒997-0192	市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111
櫛引庁舎	〒997-0346	市内上山添字文栄100 ☎57-2111
朝日庁舎	〒997-0492	市内下名川字落合1 ☎53-2111
温海庁舎	〒999-7205	市内温海戊577-1 ☎43-2111

→メールは
こちらから



→ホームページは
こちらから



《人口と世帯》(平成29年1月31日現在)
住民基本台帳人口合計：130,015人
(男：62,022人、女：67,993人)
世帯数：48,601世帯

R70



環境に配慮し古紙再生紙と植物油インキを使用しています